

令和 6 (2024) 年度 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校 学校評価報告書（概要版）

教育目標	1 博く深く知識の修得に努め、自主積極的に事物を究明し、正しい判断力を養う。	今年度の重点目標	「一人ひとりの生徒を中心に据えた品格と魅力のある学校文化の創造」 1 「正剛寛」の実践指導による、大志を抱いて未来を創造できる生徒の育成 2 「授業第一主義」による学力の向上と読書指導の推進 3 安全性の確保の上に立った基本的生活習慣の確立と学校行事・部活動等の活性化 4 リーダーシップ・フォロワーシップ及び寛容性・対話力の育成 5 教育改革の流れを踏まえた、知的好奇心を喚起し探究心を養うための学習指導及び進路指導の充実 6 中高一貫教育校としての体制の充実					達成度	・アンケート・教職員評価の肯定的意見 A・・・80%以上 B・・・60%以上80%未満 C・・・40%以上60%未満 D・・・40%未満
	2 心身を鍛練して、不撓不屈、堅忍持久、活動的にして、実践力に富む道德性を養う。								
	3 自他の敬愛と相互協力の理念に徹し、責任を重んじ規律を守り、協調融和の精神を養う。								
	4 自己を育んだ一切の他力に深く思いを致し、感恩奉仕の信情を高める。								

学 校 自 己 評 価					学校関係者評価			令和 7(2025)年度に向けた改善策	
現 状 と 学 校 評 価 実 施 計 画					達 成 状 況				【中高一貫】 生徒が、学校にワクワクするような取組を期待したい。中高一貫教育校ならではの魅力、育てたい資質・能力についてご検討いただきたい。 【リーダーシップ】 生徒募集においては、本校の特色を十分に出すようにしていただきたい。 例えば、大学進学実績や学力も重要だが、未来を切り拓くリーダーを育てることに留意してほしい。 【生徒指導】 生徒間トラブルが起きたときに、友人や教員など、周りの人に相談できる雰囲気づくりを継続してほしい。 【探究心】 生徒の探究心を育てて生徒自らが考える力を育成する必要がある。その際、企業との連携なども視野に入れて推進していくことも有効である。
重点	生徒の現状と課題	評価項目	主な方策	評価指標	アンケート		教職員評価 達成度	達成状況と課題	
					生 徒	保護者			
1	・学級目標や行事の目標等で、校訓を意識できるようにしているが、「正剛寛」の実践意識を持って学校生活を送ることは十分とはいえない。	①校訓を意識した学校生活	・学級目標や学校行事の目標等を決める際に、校訓を意識させて設定し、振り返りを行う。	生徒・保護者のアンケート結果を参考にした教職員評価	B	B	A	・概ね意識できた。今後、校訓を軸に考え実践していく機会を増やすことが必要である。	
		②夢や目標をもった学校生活への取組	・各教科等で自己肯定感を高める指導を心がけ、個性を尊重し、一人ひとりを大切に育てていく。		A	B	A	・個人差がある。一人ひとりの自己肯定感を、各種活動を通して、育成することが必要である。	
2	・主体的に学習に取り組む学びを楽しむ様子が見られるが、読書指導については、朝の読書タイム等で充実を図っている。	①深い学びにつながる授業改善	・生徒が主体的に取り組める授業の工夫や他者及び教材と対話する場の設定を通し、自己の考えを深める学習活動を展開する。		A	B	A	・十分、達成できた。今後も各教科で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。	
		②活字に親しむ指導の推進	・新聞やタブレット等から得た情報を活用した学習を取入れる。		A	B	B	・概ね達成できた。今後も国語の授業等の充実を図る。	
3	・校内では時間を守り、規範意識も高いが、校外では公共交通機関利用のマナーなど、小さな交通トラブルもある。	①計画性・自主性の醸成	・生活記録等を通し、家庭での計画を把握し、随時助言を行う。		A	B	A	・概ね達成できた。今後も家庭と協力し育成を図る。	
		②生活のきまりやマナーの遵守	・校内のきまりや交通安全を含めた公共のマナーについて定期的に指導する。		A	A	A	・十分、達成できた。今後も、きまりやマナーを遵守する意識を醸成する。	
4	・リーダーシップを育てる取組や環境を通して、様々な場面でリーダー性を発揮している。個性や多様性を認め合い、いじめを許さない雰囲気がある。	①リーダーシップの発揮	・様々な場面で、リーダーとしての資質を育成する場を設け、場に応じた行動を促すとともに、フォロワーシップの大切さも併せて指導する。		B	B	A	・概ね達成できた。様々な場面で、生徒を信用し、任せて、認める場면을継続していく。	
		②フォロワーシップの指導	・いじめを許さない雰囲気づくりに学校全体で取り組む。		A		A	A	・十分、達成できた。フォロワーシップの意識は高い。
		③いじめを許さない雰囲気	・特別活動、総合的な学習の時間、自彊タイム等で、キャリア教育を系的に行う。		A	A	A	・十分、達成できた。多様性を認める意識を醸成する。	
5	・総合的な学習や教養講座に取り組むことで、個に応じた探究心が高まっている。	①キャリア教育の充実	・総合的な学習を核に、知的好奇心を喚起し、探究心を育てる。		A	B	A	・十分、達成できた。特色ある活動を活かしたキャリア教育を継続する。	
		②探究心の育成	・中高の教師がお互いに学び合い、系的な学力向上を図る。		A	B	A	・十分、達成できた。今後も探究心の育成を図る。	
6	・体育祭や宇東祭などの学校行事や中高交流会などから、高校生のリーダーシップを実感し、よい刺激を受けている。	①特徴を生かした学力の向上	・中高の教師がお互いに学び合い、系的な学力向上を図る。		B	B	A	・概ね達成できた。6年間を意識した学力向上を図る。	
		②高校生からのよき刺激	・高校生と取り組む行事等で体験的に学ばせる。高校生の進路状況等に関心を持たせる。	A	B	A	・十分、達成できた。中高交流会等の行事の充実を図る。		
									【全体】中高の教員で連携を図り、中高6年間を見据えて生徒指導、学習指導等の充実に努めていく。 学校行事等で校訓を意識させるとともに、学級目標等で「正剛寛」の視点を身近に感じられるようにする。 各教科や学校生活の中で活躍する場を設定し、一人ひとりの自己肯定感を高める機会を設定する。 タブレット PC の利用等をとおして、個別最適な学びの機会を充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を継続していく。 各教科等で活字から内容を読み取り理解を深める指導の充実を図る。 基本的な生活習慣の確立に向け、家庭と協力し生徒の自主性を育てる。 今後も、きまりやマナーを遵守する高い意識の醸成を継続できるよう、様々な場面で認め、励ましていく。 周りとの対話を重視しながら、責任感をもって取り組めるよう、一人ひとりを励ましていく。 より良い集団を目指し、考えて行動できるよう励ましていく。 いじめを許さない意識を持続できるよう、寛容性を育成していく。 OB の話や社会体験の機会等から、自分の良さに気付いたり、社会に視野を広げたりできるようにする。 総合的な学習の時間を核に、各教科で探究的な学びの充実を図る。 中高の教員で連携し、6年間で育てたい資質・能力について整理する。 中等教育学校への再編を意識して、行事等での生徒の交流、校務分掌等での教員の交流を促進する。